1.31.2020

富士通研究所）松倉

DS-TF（第3回）

1. 前回メモ

・レビュー方法

　事前レビューを分担し、レビュー者の修正版をベースに読み合わせ

　事前レビューは、翻訳文を読んでみて、内容のおかしいところがあれば、

　原文と突き合わせる。それ以外は、翻訳文を読むだけでOKとする。

（原文と突き合わせながらレビューするのは時間がかかりすぎて、

　現実的ではないことから上記の結論となった）

・2章

　Conformance：適合

　Normative：規定

　Informative：参考情報

　それ以外は、JISの訳文を参考にして松倉が見直す。

　総務省さんからのコメントとして、TTCでの事例を参考にできないか

　とのコメントがありましたので、次回2章は再レビューとします。

・用語については、できるだけ原語を利用する。

　Thing利用者→原語「Consumer」を使用する

　Mozilla Project Things→Mozillaで実施しているプロジェクトThing

・原文の理解しにくい部分については、Editor's note等を追加する

・英語と日本語の混在見直し

　リンクデータ、Linked Data→リストしておき、最後に一気に修正

・オプション仕様と記載

　WoT Runtime、WoT Scripting APIの項目内

1. レビュー方針

原文はCR1(5月版)なので、今後PRとの差分は反映してください。3章までは松倉のほうで確認済み。

Editor’s noteについては、適宜提案して頂ければ文書に反映します。内容はレビュー時に確認する。

Thing Description文書(翻訳版)は、いつ頃出来上がるか確認要。

「ですます」調で統一する。作業は最後にまとめて行う。

「てにをは」レベルは、TTC事務局にお願いする。

指摘のうち、「意味は同じだが表現が異なる」は極力訳文を活かしたい。指摘者によって表現はぶれるので、一貫性がなくなるため。

1. 4, 5章、概要をレビュー
2. その他

次週は抜けられない用事が入ってしまったため、スキップでお願いしたい。

次回2月14日(金)9:30～11:00

以上